

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事		平成 24年 7月 18日					
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日東精工株式会社 代表取締役社長 塩田 展康 電話 0773-42-8915					
主たる業種	ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ねじ等製造業				細分類番号	2   4   8   1	
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 京都府地球温暖化対策条例施行規則 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号						
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	不良率の削減、再加工の削減、廃棄物のリサイクル化によって二酸化炭素を3年間で3%削減する。また、弊社売上を基準として原単位を3年間で3%削減する。						
計画を推進するための体制	ISO14000環境管理組織の小委員会組織、省エネ委員長を本部長とする省エネ委員会で実施計画の策定し、全社の省エネを推進する。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	6,687.0 トン	6,020.7 トン	トン	トン	-10.0 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	6,687.0 トン	6,020.7 トン	トン	トン	-10.0 パーセント	
実績に対する自己評価		コンプレッサーの更新・照明LED化・夏場の休日シフトなどによって、電力量が前年比87.8%に削減出来た。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
	工場	工業活動に伴う排出の量 (トン/百万円)	44.45	36.75			-17.32 パーセント
		工業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
実績に対する自己評価		電力量削減効果が大きく寄与した					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
		114.0 トン	114.0 トン	トン	トン		
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	八田工場インバータポンプの導入・照明LED化・電気自動車2台導入					
	(24)年度						
	(25)年度						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	特になし					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	弊社への地方公共交通機関の便が悪く、現行ではマイカー通勤の他に合理的な通勤手段が見当たらないため。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	トン	0.0 トン	0.0 トン			
	府内産の木材の利用によるもの	トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの	トン	0.0 トン	0.0 トン			
合計		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	綾部市由良川花壇展に参加 綾部水無月祭りの清掃作業に参加 電気自動車2台導入した。(1台については、各工場への定期便として使用した)						
特記事項							

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。  
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。  
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。  
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。